

# 長崎県南高来郡西有家町

## 龍石における祝言のあいさつ

愛宕 八郎 康隆

### ○はじめに

1. 対象地の地理的環境：西有家町は、長崎県島原半島の東南部に位置し、龍石集落は、西有家町の南西域にあって有明海に面している。
2. 対象地の社会的経済的環境：農業集落であるが、商業者、勤め人も若干見られる。
3. 生業：農業を主とするが、野菜作りが盛んで米作やみかん作りを上まわっており、専業農家は少なく、野菜作りとそうめん造りの兼業者が多い。
4. 交通：島原鉄道が日に15便（JR諫早への便）、バス便（諫早、長崎への便）が数便ある。
5. 人口：380戸ほどで、人口はおよそ1600人である。人口は、減少傾向にある。
6. 調査年月日：1990年11月11日  
午後1時～3時5分
7. 方言話者：狩野住松 明治38年8月生（85歳）  
その他60歳台女性1名、70歳台男性1名について補い調査を行った。
8. 調査者、調査場所：愛宕八郎康隆、狩野住松氏宅座敷
9. 調査方法：質問法によった。

### I. 結納授受のあいさつ

1. 仲人が新婦の家に結納を持参した時、座敷で、その家の主人（新婦の父親）に向かって、どのようなあいさつをしますか。  
○ムリナ ゴソーダンオ モーシアゲマシタトニ ゴシヨータク  
イタダイテ アリガトー ゴザイマシタ。イヨイヨ コノ ハコ  
ビト ナリマシタケン オーサメクレナヘー。無理なご相談を申

上げましたのにご承諾をいただいてありがとうございました。  
いよいよこのような運び（結納のこと）となりましたので、お納  
め下さい。（老男→老男 試演）〈古〉〈老年層〉〈上品〉〈あ  
らたまり〉〈上待遇〉〈稀〉

2. その家の主人（新婦の父親）は、仲人に応じて、どのようなあいさつ  
をしますか。

○ゴテネーニ アリガトー ゴザイマス。ごていねいにありがと  
うございます。（老男→老男 試演）〈古〉〈中・老年層〉〈上  
品〉〈あらたまり〉〈上待遇〉〈普〉

3. その時の新婦のあいさつがあれば、記してください。

○イロイロ オシェワン ナリマシター。コンゴトモ ヨロシク  
オネガイシマス。いろいろお世話になりました。今後ともよろし  
くお願いします。（老男教示）〈新〉〈普〉（新婦は、このよう  
な場合、ふつうあいさつのことばは述べない。）

## II. 嫁をもらう家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁をもらうことが決まった家の人に道で出会って、近所の人たちはど  
のようなお祝いのあいさつをしますか。

○ゴンド エンダンガ マトマツタソーデ オチツカシタデス ナ  
ーイ。オメデトー ゴザイマス。今度縁談がまとまったそうで  
落着かれましたねえ。おめでとうございます。（老男教示）〈中  
・老年層〉〈普〉

2. 嫁をもらう家的人是、そのあいさつに応じて、どのようなあいさつを  
しますか。

○オシェワニ ナリマスバツター ヨロシク オネガイシヤース。  
お世話になりますけれどよろしくお願いします。（老男教示）〈  
中・老年層〉〈普〉

## III. 嫁に出すことが決まった家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁に出すことの決まった家の人に、近所の人たちはどのようなあいさ  
つをしますか。

○エンダンガ キマラシタソーデ オメデトーガス。ナニカト オ  
シェワデス ナーイ。縁談が決まられたそうでおめでとう。なに  
かとお世話ですねえ。（老男教示）〈古〉〈中・老年層〉〈普〉

2. 嫁に出す家の人は、そのあいさつに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○ナガーカ コト ショートッタデスバツテ ヤット オチツキヤシター。長いことお世話になっていましたが、やっと落ち着きました。(老男教示)〈古〉〈中・老年層〉〈普〉

#### IV. 結婚式当日のあいさつ

結婚式当日、結婚式に出席した人たち(親戚以外)は、どのようなあいさつをしますか。

1. 新郎の父親にどのようなあいさつをしますか。

○キョーワ オメデトー ゴザイマース。コンニチワ ゴアンナイイタダイテ アリガトー ゴザイマス。きょうはおめでとうございます。今日のご案内をいただきありがとうございます。(老男教示)〈中・老年層〉〈普〉

1-2. 父親は、それに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○オイソガシカ ナカオ ゴメーワク カケマシテ。アリガトー ゴザイマス。ユックリ オアガリクダサイ。お忙しいところをご迷惑をかけましてえ。ありがとうございます。ゆっくりあおがりください。(老男教示)〈中・老年層〉〈普〉

2. 新婦の父親にどのようなあいさつをしますか。

○キョーワ オメデトー ゴザイマース。コンニチワ ゴアンナイイタダイテ アリガトー ゴザイマス。きょうはおめでとうございます。今日のご案内をいただきありがとうございます。(老男教示)〈中・老年層〉〈普〉

2-2. 父親は、それに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○オイソガシカ ナカオ ゴメーワク カケマシテ。アリガトー ゴザイマス。ユックリ オアガリクダサイ。お忙しいところをご迷惑をかけましてえ。ありがとうございます。ゆっくりおあがりください。(老男教示)〈中・老年層〉〈普〉

#### V. 結婚式後、姑が新婦を連れて近所へあいさつに回る時のあいさつ

1. 結婚式後、姑が新婦を連れて、近所の家にあいさつをして回る時、姑はどのようなあいさつをしますか。

○コナイダカラ ドーモ アリガトー ゴザイマシター。ハナコガ

キマシタケン ヨロシク オネガイシマス。タノンミヤヒ パナ  
ーイ。この間はどうもありがとうございました。花子が（家に）  
来ましたのでよろしく願います。頼みますねえ。（老女教示）  
〈中・老年層〉〈普〉

[注]

結婚式後、姑が新婦を連れて近所へあいさつに回るしきたりを、当  
地では「チャクバリ」（茶配り）と言っている。この時配る包みは、  
「キンノベ」と呼ばれるひきの強い半紙大の紙の中にお茶の葉をく  
るんだもので、その包みの表中央に、お祝のしるしとして口紅をつ  
ける。

2. そのあいさつに答えて、近所の人はどのようなあいさつをしますか。

○コナイダワ ゴツツオン ナリヤシテ。イナカモツデ ナンモ  
ワカランケン オシェワン ナッデヒ パナーイ。この間はご馳  
走になりまして。田舎者でなにも解らないのでお世話になります  
よねえ。（老女教示）〈中・老年層〉〈普〉

[注]

このあいさつを承けて、嫁が次のようにあいさつする場合もある。

○ナンニモ ワカランケン ヨロシク オネガイシマス。なにも解  
らないのでよろしく願います。

## VI. 嫁を迎えた家の人へのお祝いのあいさつ

1. 10日ほど前に、長男（29歳）に嫁をもらった60歳台の父親へ、結婚式  
に招かれた50歳台の女性が、昼下がりの路上で、どのようなお祝いの  
あいさつをしますか。

○シェンダッテワ ドーモ アリガト。ゴザイマシター。ナガザ  
シテ ゴツツオン ナリヤシテ。ゴメーワク カケテ スシマ  
セン。先日はどうもありがとうございました。長座してご馳走に  
なりまして。ご迷惑をかけてすみません。（老女教示）〈中・老  
年層〉〈ねんごろ・ていねい〉

2. 父親は、それに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○イーエ アリガトガシテ。ナーモ カモイモ デキズニ スジ  
マシエンデシター。ゴシューギマデ イタダイテ アリガトガシ  
ター。いいえ、ありがとうございました。なにもおかまいもでき  
なくてすみませんでした。ご祝儀までいただいてありがとうございます

いました。(老男教示)〈中・老年層〉〈普〉

## VII. 結婚式後の仲人へのあいさつ

1. 結婚式後、仲人の所へ新郎新婦(あるいは両親)がお礼に行った時、どのようなあいさつをしますか。

○センジツカラ、ドーモ、イロイロ、シンバイバ、カケマシテー。  
アリガトガシタ。オカゲサマデ、ヤット、オチツキヤシタケン  
ヨロシク、オネガイシヤス。先日からどうもいろいろ心配をかけ  
ましてえ。ありがとうございました。おかげさまで、やっと落着  
きましたので、よろしく願います。(老男教示)〈中・老年  
層〉〈普〉

2. 仲人は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○タイヤクバ、オーセツカリマシテー、コイデ、ヤット、アンシン  
シマシター。コノゴ、スエナゴー、ゴタコーバ、オイノリシマー  
ス。大役を仰せつかりまして、これでやっと安心いたしました。  
今後、末ながくご多幸をお祈りいたします。(老男教示)〈中・  
老年層〉〈普〉

## VIII. 嫁のはじめての里帰りのあいさつ

1. 嫁がはじめて里帰りする時、嫁ぎ先の親に、どのようなあいさつを  
しますか。

○キョーワ、サトガエリ、ヤラセテ、モライマース。きょうは里帰  
りをさせていただきます。

2. 両親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○ネノ、ツクケン、ナゴーワ、トマル、コトワ、ナラン、バーイ。  
ハヨー、カエッテ、コーニヤ。ナゴーワ、トマラデ、ヨー。コエ  
ヨー。根が生えるから長く泊まることはできないよ。早く帰って  
来なくっては。長くは泊まらないでよお。帰れよ。(老女教示)  
〈古〉〈中・老年層〉〈やや下〉

### [注]

嫁がはじめて里帰りすることを、当地では「ハチアラク」(初歩き)  
と言う。里帰りに当っては、婚家の両親に、「セイザシテ、テー  
ツイテ、カゴンデ」(正座して手をついて身をかがめて)、ていね  
いにあいさつをする。里帰りには、みやげとして赤飯を3升分炊い

て「サカイジュー」に入れて持ち帰ったという。今日は、赤飯の代りに、まんじゅうをみやげにする。また、里帰りしての宿泊日数は、1、3、5の奇数の日数に定められていたという。

#### カブタ

☆ 当地の、祝言行事として注目される「釜蓋かぶせ」について。

この行事は、祝言の日、嫁が婚家の玄関のしきいをまたぐ直前に、玄関の右側に待ち受けている係の男性が、釜蓋を嫁の頭上にかざし、次のような口上を述べるといふもので奇習とされる。

チョット マッタ ハナヨメゴト ワタシワ イズモノ クニカラ ト  
ーリガケー カマブタカブセニ ヤトワレテ タノマレタ コトナラ  
モーサニヤ ナルマイ。ツルワ センネン カメワ マンネン トーケ  
ノ ヨメジョウ マンマンネン イツタン フミコンダ ウエカラワ  
ヤセウマン ケツンゴト イツタリ デタリ スンナ。カマドン ヒャ  
ーカラ ユカンシタン ネコンクソマデ コン ヨメゴント。ドッシリ  
カマエトレ。モーシノブル コトワ ヤマヤマ アレド アマリ ナガ  
コージョーワ コンレイノ サマタゲ、サー ハイラッシャレ ヨメゴ  
ドーイ。ちょっと待った花嫁御、私は出雲の国から通りがけ、釜蓋かぶ  
せに雇われて頼まれたことなら申さねばなるまい。鶴は千年、亀は万年  
当家の嫁女は万万年、一旦踏み込んだからには瘦せ馬の尻のように入っ  
たり出たりするな。かまどの灰から床の下の猫のくそまでこの嫁御のも  
の。どっしり構えておれ。申し述べることはたくさんあるけれど、あま  
り長口上は婚礼の妨げ、さあ、お入りなさい。嫁御よい。

釜蓋かぶせの口上は、長さも、文言も人によって出入りがあるが、この  
ようなしきたりも近年影をひそめつつある。

[ 長崎大学教育学部 ]